

月刊フットマーク

号外  vol.2

世界水泳バルセロナ 2013

発行：フットマーク広報室
東京都墨田区緑 2-7-12

BCN 2013
BCN JO13
BARCELONA 2013
© FINA 2013

バルセロナの地で笑顔を

- ◆2013年7月20日(土)～8月4日(日)
- ◆パラウ・サン・ジョルディ
- ◆第15回FINA世界水泳選手権大会(15th FINA WORLD SWIMMING CHAMPIONSHIPS)

全体4位で準決勝に進んだ金藤理絵。予選の少しだけ穏やかな雰囲気から一転し、張りつめた緊張感のなかで金藤選手は世界の強豪たちに引けを取らない泳ぎを見せた。



金藤 決勝だ!

照準を合わせて

「まだ前半が固いかな、と思います。やっぱり緊張はしますね」と準決勝を振り返る金藤理絵。しかし、呼吸のときに高く身体を持ち上げる特徴的な泳ぎは、予選よりもさらに軽く、大きく、なめらかになっている。軽やかに進んでいくその姿から、調子の良さが伺える。

「200mのなかでも泳ぐにつれて、だんだん良い泳ぎになっていった。後半になってきた良い泳ぎをちゃんと前半からできるように、決勝では修正したいと思います」と、レース中にも自分の泳ぎの変化をしっかりと感じとれるほど、冷静だった。

前半から、隣のコースの選手が一気に飛び出すスピードレースだった準決勝。金藤はその速さに惑わされることなく、自分の泳ぎ、自分のレース展開を貫いた。決勝でも、準決勝同様のスピードレースが予想されるが「海外選手は前半から速いので、周りに惑わされたくない。惑わされなければ、しっかりとついていくことを考えていきたいと思っています」と、自身の決勝レースプランについて話した。

金藤の強さは、その精神力にある。昨年のロンドン五輪の出場を逃し、テレビで観戦することは辛かったという。だが、もう一度気持ち奮い立たせて、再び世界の舞台に戻ってきた。その道のりは、とても険しく、厳しいものだったはずだ。その苦しい日々があったからこそ、今、バルセロナの地で笑顔を見せることができる。

予選後のインタビューで「8割くらいの力です」と話していたので、準決勝は何割ですか?と聞いてみた。すると彼女は笑顔で「9割くらいですね」と応えたあと、「まだ100%ではないけど、それが気のゆるみにならないようにしたい」と話す。すでに決勝で戦う準備は整っている。あとは号砲を待つばかりだ。



BARCELONA

